

経営体の概要

- ・所在地：三重県木曽岬町
- ・経営体名：有限会社木曽岬農業センター
- ・栽培作物・作付面積：水稻・190ha
- ・従業員数：16名（令和6年3月現在）

導入技術(平成29年度)

- ・GNSSを活用した『直進キープ機能付田植機』
（株式会社クボタ製）
一工程目で直進方向の基準線（始点・終点）を登録すると、次工程からは、基準線に対して自動的に平行走行する。
直進キープ機能と合わせて、株間キープ機能と、施肥量キープ機能を併用する事により、設定したとおりの苗使用量と施肥量にて田植え作業が可能。



直進キープ機能付田植機による田植え作業の様子

導入経緯

- 木曽岬農業センターでは、田植え作業を稲作作業の中で最も高い精度が必要な作業と位置付けている。
- これまでは、経験年数の少ない社員が田植え作業を行うには、一定期間のベテラン社員によるOJTが必要であった。
- そこで、経験年数が少ない社員でも簡単に真っ直ぐに田植えができる「直進キープ機能付田植機」を平成29年度に導入した。

取組の特徴・効果

- 「直進キープ機能付田植機」を導入することにより、経験年数が少ない社員でも真っ直ぐ田植えを行うことができた。
- 作業時間の短縮等の明確なデータはないが、ベテラン社員においても、直進キープ機能により心的なストレスから解放されたとともに、作業の一定の効率化が図られた。
- ベテラン社員、経験年数の少ない社員問わず、好評だったため、その後「直進キープ機能付田植機」を追加で導入した。さらに「自動操舵付きトラクター」および「自動運転田植機」を新たに導入し、さらなる作業の高精度化を図る。
- これらの性能を活かし、ホテルなど実需者の新任者研修や農業体験を安全に実施できるため、地域貢献にもつながっている。